

東濃地科学センターの状況

【土岐地区】

1. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
 - ・加速器質量分析装置(AMS)：メンテナンス終了(1/19～1/31)、¹⁴C測定開始(2/1～)
2. 地質環境の長期安定性に関する研究
 - ・調査技術の開発・体系化を継続
 - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
 - ・年代測定技術の開発を継続
3. その他
 - ・なし

【瑞浪地区】

1. 地下水の環境モニタリング調査
〔瑞浪用地〕
 - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔(05MI01、07MI07、09MI17-1、09MI19、09MI20、09MI21、10MI23、10MI26、12MI32、12MI33、13MI39～41号孔)における地下水水圧観測を継続
 - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔(05MI01、07MI07、09MI20、09MI21、10MI26、12MI32、12MI33号孔)、換気立坑(深度500m、深度400m、深度300m、深度200m、深度100m)および深度500m研究アクセス北坑道、深度500m予備ステージ、冠水坑道における地下水水質観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(MSB-1～4、05ME06号孔、MIZ-1号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(MSB-2、4号孔)を用いた地下水水質観測を継続
〔正馬様用地〕
 - ・地表からのボーリング孔(AN-1、MIU-3、4号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(AN-3号孔)の閉塞作業を準備中
 - ・地表からのボーリング孔(MIU-2号孔)の閉塞作業を準備中
〔広域地下水流動研究対象地域〕
 - ・地表からのボーリング孔(DH-2、15号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(DH-2号孔)を用いた地下水水質観測を継続
 - ・地上からのボーリング孔(DH-13号孔)の用地整備作業を準備中(4/18～)
2. 瑞浪用地周辺の環境影響調査
 - ・河川水の水質測定及び流量観測を継続(狭間川)
 - ・水位観測を継続(瑞浪用地周辺井戸)
3. その他
 - ・瑞浪用地における立坑埋め戻し面の沈下量測定を継続(HP掲載)

【その他のお知らせ】

- ・第37回東濃地科学センターセミナー(恐竜化石の発見は、年代でさらに重要となる！～日本の化石の発見と研究から～)及び地層科学研究 情報・意見交換会を開催予定(2/25, 26)